



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社

コード番号 8291 URL <http://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 酒井 信也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 米澤 領一

TEL 03-5496-5203

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	71,323	0.2	1,552	△6.4	1,191	1.1	1,132	51.7
24年3月期第2四半期	71,201	106.6	1,658	—	1,179	—	746	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,139百万円 (50.2%) 24年3月期第2四半期 758百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.01	—
24年3月期第2四半期	11.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	65,309	16,840	24.6
24年3月期	70,622	15,719	21.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,044百万円 24年3月期 14,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	1.7	3,800	△9.1	3,200	△0.1	2,800	10.5	42.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

（注）第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	66,635,063 株	24年3月期	66,635,063 株
25年3月期2Q	52,254 株	24年3月期	52,000 株
25年3月期2Q	66,582,834 株	24年3月期2Q	66,584,687 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要とエコカー補助金などの政策効果に支えられ回復を続けてまいりましたが、円高、欧州の景気後退、アジア経済の減速等のマイナス要因もあり、先行き予断を許さない状況が継続いたしました。

当社グループの主力である自動車関連事業におきましては、軽自動車を含む国内の新車販売台数が9月単月では前年を下回るなど厳しい市場環境でありましたが、震災影響のあった前年同四半期比で33.5%増となりました。また、当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数は30.4%増であります。しかしながら、当社グループの新車販売台数は昨年同四半期の販売への震災の影響が他社より少なかったこともあり前年同四半期比0.9%減の実績となっております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りに推移した結果、売上高は71,323百万円（前年同四半期比122百万円増、0.2%増）、営業利益は1,552百万円（前年同四半期比105百万円減、6.4%減）、経常利益は1,191百万円（前年同四半期比12百万円増、1.1%増）、四半期純利益は1,132百万円（前年同四半期比385百万円増、51.7%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、従来、報告セグメントとして記載していた「不動産関連事業」は、重要性が減少したため「その他」に含めており、前第2四半期連結累計期間との比較につきましては、変更後の区分により作成した情報に基づき記載しております。

① 自動車関連事業

新車販売につきましては、セレナ・ノート・キャラバンの新型車効果により増収・増益となりましたが、前年同四半期の中古車市場が活況であった反動もあり、中古車販売の減収・減益が大きく影響した結果、売上高は66,744百万円（前年同四半期比392百万円減、0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は1,670百万円（前年同四半期比167百万円減、9.1%減）となりました。

② 情報システム関連事業

パソコンを中心としたハードウェアビジネスが伸張した結果、売上高は3,691百万円（前年同四半期比548百万円増、17.5%増）、セグメント利益（営業利益）は139百万円（前年同四半期比39百万円増、39.4%増）となりました。

③ その他

その他の事業は不動産事業及び人材派遣事業であります。不動産事業において外部顧客への賃貸契約が減少したこと、及び人材派遣事業において派遣スタッフ一人当たりの売上単価が減少した結果、売上高は887百万円（前年同四半期比33百万円減、3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は48百万円（前年同四半期比15百万円減、24.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は65,309百万円（前連結会計年度比5,312百万円減、7.5%減）となりました。主な内容は、商品が1,949百万円増加し、受取手形及び売掛金が2,047百万円、その他流動資産が1,216百万円、有形・無形固定資産が288百万円、投資有価証券が126百万円、長短繰延税金資産が155百万円、現金及び預金が3,361百万円減少しております。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は48,469百万円（前連結会計年度比6,433百万円減、11.7%減）となりました。主な内容は、支払手形及び買掛金が3,962百万円、未払法人税等が352百万円、その他流動負債が653百万円、長期繰延税金負債が309百万円及び長短借入金が1,099百万円減少しております。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は16,840百万円（前連結会計年度比1,121百万円増、7.1%増）となりました。主な内容は、資本剰余金を2,093百万円取り崩し、欠損金を一部填補しており、また、四半期純利益を1,132百万円計上したこともあり、利益剰余金は3,226百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りに推移しており、現時点におきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

在外子会社の税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,615	5,254
受取手形及び売掛金	8,468	6,421
商品	6,764	8,713
仕掛品	138	140
貯蔵品	66	83
繰延税金資産	720	860
その他	3,946	2,730
貸倒引当金	△19	△13
流動資産合計	28,700	24,190
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,104	5,943
リース資産（純額）	8,675	8,609
土地	15,639	15,642
その他（純額）	4,968	4,983
有形固定資産合計	35,386	35,178
無形固定資産		
のれん	1,753	1,708
その他	237	202
無形固定資産合計	1,991	1,911
投資その他の資産		
投資有価証券	1,991	1,864
繰延税金資産	546	251
その他	2,217	2,103
貸倒引当金	△211	△189
投資その他の資産合計	4,543	4,029
固定資産合計	41,921	41,119
資産合計	70,622	65,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,176	16,213
短期借入金	567	492
1年内返済予定の長期借入金	1,203	1,574
リース債務	552	541
未払法人税等	508	156
賞与引当金	1,266	1,175
その他	5,122	4,468
流動負債合計	29,396	24,621
固定負債		
長期借入金	6,310	4,915
リース債務	8,146	8,138
繰延税金負債	309	—
退職給付引当金	10,216	10,288
資産除去債務	272	274
その他	249	230
固定負債合計	25,506	23,847
負債合計	54,902	48,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	2,350	256
利益剰余金	△1,134	2,092
自己株式	△12	△12
株主資本合計	14,954	16,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	136
為替換算調整勘定	△186	△179
その他の包括利益累計額合計	△5	△43
少数株主持分	769	796
純資産合計	15,719	16,840
負債純資産合計	70,622	65,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	71,201	71,323
売上原価	53,692	54,001
売上総利益	17,508	17,322
販売費及び一般管理費	15,849	15,769
営業利益	1,658	1,552
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	35	32
雑収入	77	52
営業外収益合計	114	85
営業外費用		
支払利息	311	178
支払手数料	112	124
雑損失	169	142
営業外費用合計	593	446
経常利益	1,179	1,191
特別損失		
固定資産除売却損	21	6
投資有価証券評価損	54	—
特別損失合計	76	6
税金等調整前四半期純利益	1,102	1,185
法人税、住民税及び事業税	160	141
法人税等調整額	162	△133
法人税等合計	323	8
少数株主損益調整前四半期純利益	779	1,176
少数株主利益	32	43
四半期純利益	746	1,132

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	779	1,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	△44
為替換算調整勘定	23	6
その他の包括利益合計	△21	△37
四半期包括利益	758	1,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724	1,094
少数株主に係る四半期包括利益	34	44

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,137	3,142	70,280	921	71,201
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	199	199	90	289
計	67,137	3,342	70,480	1,011	71,491
セグメント利益	1,838	99	1,937	64	2,002

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び人材派遣事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,937
「その他」の区分の利益	64
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△343
四半期連結損益計算書の営業利益	1,658

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成23年4月1日付で、日産プリンス東京販売(株)及び日産プリンス西東京販売(株)の株式を取得し、連結の範囲に含めております。これらの事業展開によって期待される超過収益力から発生した当第2四半期連結累計期間におけるのれんの金額は、「自動車関連事業」において1,806百万円増加しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,744	3,691	70,436	887	71,323
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12	226	238	83	321
計	66,757	3,918	70,675	970	71,645
セグメント利益	1,670	139	1,810	48	1,858

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び人材派遣事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,810
「その他」の区分の利益	48
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△305
四半期連結損益計算書の営業利益	1,552

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

従来、報告セグメントとして記載していた「不動産関連事業」は、重要性が減少したため「その他」に含めております。

この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分により作成しております。

(減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。